

分煙へパーティション

J R穂積駅
北口喫煙所

J T、瑞穂市に贈る

日本たばこ産業(J T)は30日、分煙環境整備に役立ててもらおうと、J R穂積駅北口の喫煙所を仕切る

パーティションを瑞穂市に寄贈した。

同社などは2017年に同駅の北、南口に喫煙所を



景山徹也支店長(左)から目録を受け取る森和之瑞穂市長＝瑞穂市別府、J R穂積駅前

設置し、市が管理している。今回、北口の喫煙所を仕切っていた人工樹木が劣化したため、すりガラスのパーティションに切り替えることにした。灰皿を囲うようにL字型に立てられ、喫煙所の様子が外から見えないようになっている。

贈呈式が現地であり、同社岐阜第一支店の景山徹也支店長が森和之市長に目録を手渡した。景山支店長が「分煙や環境美化のサポートをしていきたい」と話し、森市長は「(喫煙所の設置で)ポイ捨てがなくなった。

利用しやすい駅にしたい」と感謝した。